

# 安城出身の力士 ～ハマイカリ～

6年 野呂 彩乃

## 1. きっかけ

私の住んでいる北部学区にお地蔵さんが多くあります。その中でも、歯科医院の隣にある青麻神社には地蔵尊があり、近くにお相撲さんの銅像もあります。どうして、この場所にお相撲さんの銅像があるのか調べてみたいと思いました。

## 2. 調べ方

図書館で資料を集め、詳しい方にお話を聞く

## 3. お相撲さんの正体

安城出身の大相撲の力士 濱破又七さん



本名 畔柳又七は「濱破又七」という四股名で相撲を始め、大相撲では、三段目まで昇進。しかし、ケガのため引退。その後、薬の行商となる。

### 薬を貝反売するきっかけ

濃尾地震で、森林平と2000人近くのケガをした人たちの治療をした。その後、浅井膏薬(打撲痛み止め)の三河国での販売できる権利をもらった。



### 引退後の相撲との関わり

三河地域の相撲のことはすべて濱破を通して協会に取り次いでいた。本来、親方しか出来ない取組の検査役も務めた。

安政3年(1856)	畔柳又七が生まれる
慶応3年(1867)	濱碓又七が草相撲をとり始める
明治11年(1878)	東京相撲 五代目清見瀧又市に入門する
14年(1881)	三段目まで昇進。巡業場所でけがをする
16年(1883)	5月場所限りで相撲を引退
18年(1885)	濃尾地震が起きる。濱碓薬館を開業する
24年(1891)	浅井膏薬の三河国の独占販売権をもらう
27年(1894)	米田きぬと結婚 長男は残し、次男(旭)、三男(辰男)を連れて濱碓に嫁ぐ(前夫 山口佳太郎と死別した)
30年(1897)	長女 ゆう路が生まれる
31年(1898)	「清見瀧代理目代正」をもらう
33年(1900)	長男 又蔵が生まれる
昭和6年(1931)	76歳で生涯を終える

## 4. 濱碓が建てた石碑とお地蔵さん

実家の隣の敷地にお地蔵さんやお世話になった人の石碑を建てる



行商で回る村々でも頼まれてお地蔵さんを20体以上寄付した

1 「まいかり地蔵」  
JR安城馬東踏切前  
この場所は濱碓薬局  
を開設した場所である。

2 「濱碓地蔵」  
池浦(明治)用水中井筋  
中井筋ルートは江戸時  
代に碧南の大瀧から三  
河山間部・足助や信州方  
面に塩を運んだ塩の道  
だ。

3 豊田花園町善壽東角  
花園町は濱碓が住ん  
でいた里村の隣村で  
あり行商でいつも回  
っていた。

4 濱碓さんのお地蔵様

# 5. 山口旭薬局~安城市初の薬局~

大正2年(1913)「濱碓薬局」を国鉄安城駅東踏切に開設  
米田きぬの次男山口旭が、行商の手伝いをし、薬剤師資格を取  
って、濱碓と一緒に働く。

大正6年(1917)山口旭薬局に変更し、「ハマイカリ」と呼ばれる。

現在はJR安城駅前通りで、五代目 山口佳久さんが営んでいます。

実際に山口さんにお会いし、お話を伺いました。

Q どのように薬を売  
ていたのですか？

A 大車をひいて、三  
河国中を歩いて回って  
いた。



大正6年

Q どうして薬局の名  
前を変更したのです  
か？

A 当時は「濱碓」を  
漢字で読める人がい  
なく「山口旭薬局」  
に変更し、カタカナ  
で「ハマイカリ」と  
した。



昭和13年

Q 薬剤師になるのは  
大変なことだと思  
いますか、山口旭さん  
はどのようにして、  
免許を取ったのです  
か？

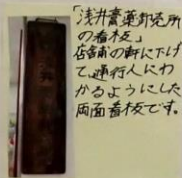
A 大阪の薬学校(現在  
の大阪薬科大学)で苦  
勞して学んだ。



昭和53年から現在



明治14年4月19日  
前代表



「浅井齋薬師宛所  
の看板」  
店前の軒に下げ  
て、通行人にわ  
かるようにした  
両面看板です。



「起死回生 寶舟」の看板  
この看板は明治政府が初めて医薬  
品とした薬で、起死回生とある  
のは、伝説の薬のコレラを患った  
人が服用すると、  
死かたにやうす  
(明治20年代)



「医師又方養調刺所」の看板  
大正2年から昭和30年くらいまで  
薬局の正面入り口に飾ってありまし  
た。この看板には、ラテン語の言葉  
で、薬師と書いてあります。宝舟が  
飾られているのは看板でした。

お話を聞いて、今まで薬局として代々受け継がれていること  
が素晴らしいと思いました。薬局を「まちかど博物館」として、  
当時の看板や道具が展示してあったので、様子を思うのが  
できてきました。

# 6. 安城と相撲の関わり

名古屋場所の際、拵古場・宿舎としていた。

宮城野部屋  
元幕内  
竹葉山  
(2000年頃)

(姫小川町)



小松山誓願寺  
誓願寺

モンゴル  
出身の  
元横綱  
白鵬が  
入門した  
ころ

明治8年2月  
「大関成京五」を奉納

二十山部屋  
元大関  
北天佑  
(2004年頃)

(里町)



不乗森神社



土俵成あた柱と屋根



濱碓成奉納



二所ノ関部屋  
元横綱  
稀勢の里  
(2022年)~(2024年)

(池浦町)



アイビス空タロ



二所ノ関見方  
(元横綱 稀勢の里)

拵古の様子  
すり足の速さに驚きました。汗を流し、直  
剣を取り巻んでいました。床山さんがカエの髪を  
結んでいるところを見られました。  
名古屋場所がなくなり、大の里の相撲をテレビ  
で見ました。土俵の上で、命がけで戦っている姿が  
かっこいいと思いました。

# 7. 感想

引退後も相撲の仕事をする事や、お地蔵さんを建てて欲しいと頼まれるなど、濱碓さんは信頼され人望があつたことが分かりました。当時、お相撲さんが引退したら、用心棒として働くことが多い中、薬の行商をして多くの人を助けたことがすばらしいと思いました。そして、山口旭薬局で見せていただいた資料はとても貴重で、当時の様子がよく分かりました。

今まで、何気なく銅像の前を通っていましたが、濱碓さんのことを調べて私もたくさんの人を助けられるような優しい人を目指したいです。

## <ご協力いただいた方>

- ・山口旭薬局 山口佳久さん
- ・不乗森神社 宮司 畔柳弘文さん

## <参考にした資料>

- ・はまいかり物語
- ・北小子ども風土記
- ・あんでな2020秋号